

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	1	農業委員会費	274

部局名	経済環境部
課名	産業課

I : 事業概要

施策事業名	農業委員会
事業目的	担い手への農地の利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を中心に、農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申など、農業委員会の組織及び適正運営を通じ、農業の健全な発展に寄与する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○農業委員会運營業務 <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会総会を毎月開催し、農地法その他関連法令に基づき農地の利用関係の調整に関する事項を処理した。 ・農業委員会が整備している農家台帳の更新作業を実施した。 ○農地利用最適化業務 <ul style="list-style-type: none"> ・農地の利用集積・集約化の促進業務、遊休農地の発生防止・解消に係る業務、新規参入の促進業務を実施した。 ○国有農地管理業務 <ul style="list-style-type: none"> ・国有農地の除草業務を実施した。 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ○農業委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会会長報酬、委員報酬 2,219,990円 ・農地利用最適化推進委員報酬 1,727,992円 ・国有農地除草委託料 253,000円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法に関する申請等業務について適正に審査・許可を実施し、農地の利用調整を実施した。 ・農地中間管理機構を活用した担い手への農地の利用集積が進展し、農業の健全な発展に寄与した。 ・農地利用最適化推進委員、農業委員が遊休農地の所有者や担い手へ声かけする等、遊休農地解消活動に取り組み、1.4haの減少に寄与したが、新規発生等が1.8haあり、最終的な遊休農地面積は、昨年比0.4ha増の6.7haとなった。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

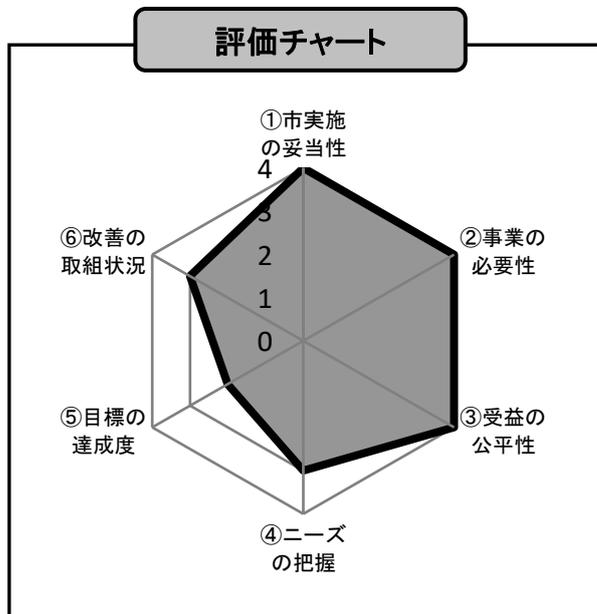
(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		性確保適応性	報発信・共有	業務の効率化
農業委員会	5,257	481	4,776	91%	4	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,257	481	4,776	91%	4	4	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		5,110	5,257	4,883
財源内訳	国県支出金	624	439	435
	地方債	0	0	0
	その他	68	42	101
	一般財源	4,418	4,776	4,347
一般財源の割合		86%	91%	89%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業委員会は、農業委員会等に関する法律第3条、地方自治法第180条の5第3項に基づき市に置かれる行政機関である。
②事業の必要性	4	法定の業務であり、継続が必須である。
③受益の公平性	4	市民は、農地が保全されることによる防災面、環境面等の受益を享受している。
④ニーズの把握	3	農地法に基づき、遊休農地の解消を進めるため、遊休農地の所有者に対し、今後の農地利用の意向調査を実施している。
⑤目標の達成度	2	令和5年度の遊休農地の解消は目標を達成できたが、集積・集約化の面積は、目標を達成できなかった。
⑥改善の取組状況	3	農業委員会業務の適正な遂行及び農業委員会活動の見える化のため、点検・評価結果や活動計画をホームページで公表している。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	地域計画の策定に必要な目標地図を作成するため、各農家に対して農地利用の意向調査を実施した。
令和6年度に見直しを実施している事項	令和5年度に実施した農地利用の意向調査の結果をもとに目標地図を作成し、地域農業者や土地改良区等の農業者団体との協議を行う。農業者団体との協議内容を踏まえた上で、地域計画の策定に取り組む。
今後見直しを検討する事項	農地集積・集約や遊休農地の発生防止、解消につなげていくため、タブレットを活用しながら、各委員による自立した活動ができる仕組みづくりを進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
農業委員会法の改正に伴い、農地等の利用の最適化の推進に関する業務が農業委員会の最重点事業とされ、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を進めていく必要がある。	農地等の利用の最適化を推進していくため、農業委員と農地利用最適化推進委員の連携体制の強化を図り、農地中間管理機構など関連する団体との連携しながら農地の集積・集約化を進めていく。併せて、遊休農地の発生防止・解消に努めていく。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	2	農業総務費	278

部局名	経済環境部
課名	産業課

I : 事業概要

施策事業名	農業総務事務
事業目的	農業行政に関する一般事務を適切に実施することを目的とし、会議、研修、協議会に参加することにより、職員の農業政策の立案能力を高め、市内の農業振興を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・各種関係会議、研修等への参加により、担当職員の知識及び能力向上を図り、適切な業務遂行を通じて、市内農業の振興を図る。 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費 6,440円
事業の成果・効果	・農業行政を進めて行く上で必要な会議や研修に参加することで、必要な情報収集や意見交換などを行うことで事業に活かした。

II : 個別事業内訳

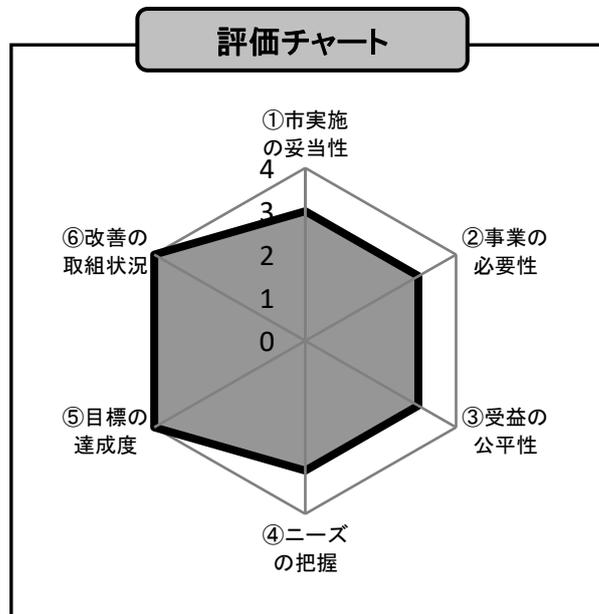
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		性確保適応性	報発信・共有	業務の効率化
農業総務事務	15	1	14	93%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	15	1	14	93%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		14	15	31
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1	1	1
	一般財源	13	14	30
一般財源の割合		93%	93%	97%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	適切な農業行政を実施するために必要である。
②事業の必要性	3	事業が停止した場合、本市農業施策の遂行に支障が生じ、市内の農家等に影響を及ぼす可能性がある。
③受益の公平性	3	職員の資質向上は市民全般へのサービスとなる。
④ニーズの把握	3	様々な農業施策を実施するにあたり意見交換やアンケート調査を行いニーズを把握している。
⑤目標の達成度	4	実施計画に基づき予算計上した業務は、適正に実施することができた。
⑥改善の取組状況	4	市民目線に立ち、分かりやすいチラシ(資料)作成し、積極的に周知した。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	市の農業政策をまとめたチラシ(資料)を見やすく改定し、市民の方への周知に活用した。
令和6年度に見直しを実施している事項	必要な予算を精査し、適切に予算計上する。
今後見直しを検討する事項	最小限の事業となっているが、本市の農業行政を進めて行く上で新たな予算が必要となった場合は充分精査した上で計上する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
農業を取り巻く環境は年々厳しくなっており、国・県農業施策をしっかりと把握し活用していく必要がある。	本市における持続可能な農業の実現に向け、適切な農業施策の実施ができるよう国・県等が実施する研修に参加し職員の資質向上を図る。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	3	農業振興費	278

部局名	経済環境部
課名	産業課

I : 事業概要

施策事業名	農業振興
事業目的	農業経営の安定、農地の保全、担い手の育成・確保等の農業振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進により、農業の健全な発展を図る。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○農業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子多胎世帯への支援策として、犬山産米（10kg）を対象世帯に配布した。 ・農業振興地域整備計画の概ね5年毎の全体見直しを実施した。 ・環境保全型農業直接支払交付金による補助を通じて、環境に優しい農業を推進した。 <p>○農業経営体育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農支援補助金により、担い手の掘り起こしと農業にチャレンジしやすい環境を整えた。 ・農産物付加価値向上補助金により、農産物加工や販売促進を図り、高付加価値化を支援した。 <p>●主な決算の内訳</p> <p>○農業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子多胎世帯犬山産米配布業務委託料 5,665,500円 ・農業振興地域整備計画見直し業務委託料 3,544,200円 ・環境保全型農業直接支払交付金 824,600円 <p>○農業経営体育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農支援補助金 1,830,000円 ・農産物付加価値向上補助金 118,000円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画の全体見直しを実施した。 ・環境保全型農業直接支払交付金により、環境に優しい農業への支援となる取り組みを開始した。 ・地産地消の促進及び多子多胎世帯への支援として、犬山産米（10kg）を対象世帯に配布した。 ・農産物付加価値向上補助金制度を活用し、農業者に対し、商品の販売価格向上の支援をした。

II : 個別事業内訳

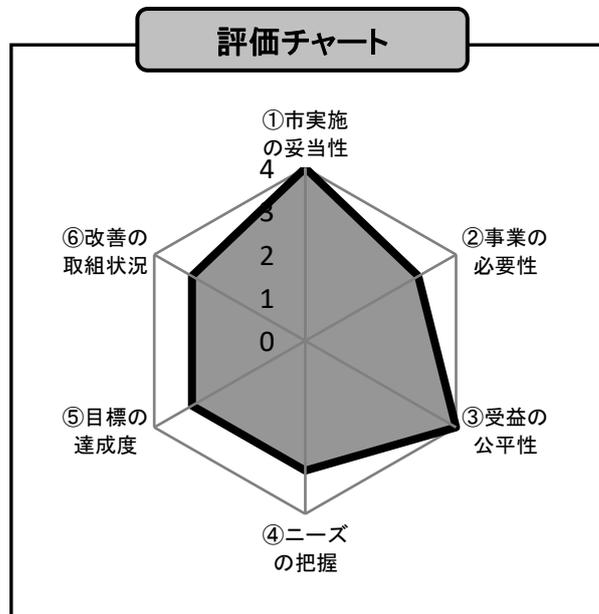
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		性確保適応性	報発信・共有	業務の効率化
農業振興	12,949	6,919	6,030	47%	4	4	4
農業経営体育成支援	3,902	1,500	2,402	62%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	16,851	8,419	8,432	50%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		18,244	16,851	15,921
財源内訳	国県支出金	5,885	2,658	2,810
	地方債	0	0	0
	その他	5,697	5,761	6,831
	一般財源	6,662	8,432	6,280
一般財源の割合		37%	50%	39%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業振興地域における農地活用について適正に市が審査し管理する必要がある。
②事業の必要性	3	農産物栽培等に関する農業施策について、少なからず市民へ影響はする。
③受益の公平性	4	農地が適正に管理され農産物が生産されることは広く市民に関係する事業である。
④ニーズの把握	3	農業関係の座談会を開催し、様々な意見を聞いている。また、事業ごとに適宜アンケートを行い、意見を収集している。
⑤目標の達成度	3	市内農産物のPRの場として農業祭を実施し、農産物をPRするためのシールも制作し市内外へPRできた。
⑥改善の取組状況	3	農業振興地域整備計画の全体見直しを実施した。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	犬山市農業振興地域整備計画の見直しを行い、諸計画との整合を図り、農用地として保全すべき区域と、農業振興を損なわない範囲で都市的土地利用を受容する区域の明確化を図った。
令和6年度に見直しを実施している事項	農産物等付加価値向上補助金を見直し、農産物等ブランディング推進補助金に改め、補助内容の拡充を図る。
今後見直しを検討する事項	関係機関と連携し、犬山産農産物の更なるブランド化支援となる取り組みを検討し、実践していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
農業者の高齢化、担い手不足による耕作放棄地の増加。担い手をどのように確保し農業を維持していくかが課題。	水稲については農地の集積集約化を推進し、効率的な農業を推進する。 果樹については援農制度の充実や販売体制の再度見直しを行い、現生産者への情報収集を行い、座談会等を実施することにより、幅広く担い手の確保へ繋げる。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	3	農業振興費	278

部局名	経済環境部
課名	産業課

I : 事業概要

施策事業名	農作物等被害対策
事業目的	有害鳥獣対策に関する施策の総合的かつ計画的な推進により、農作物被害を軽減し、農作物生産者の意欲の低下による耕作放棄を防ぎ、農業の健全な発展を図る。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟免許取得費等補助金 有害鳥獣捕獲に必要となる狩猟免許（わな猟）取得費用の一部を補助した。 ・有害鳥獣駆除事業委託料 有害鳥獣の駆除及びわな等の管理を委託した。 ・犬山市鳥獣害防止総合対策協議会負担金 鳥獣による農作物被害対策のために設置されており、農業委員会、猟友会、JA、地元農業者、県、市、農業共済等で構成。鳥獣害防止柵等設置補助や、国交付金を活用したわな購入等を実施した。 <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農作物等被害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟免許取得費等補助金 31,000円 ・有害鳥獣駆除事業委託料 4,526,500円 ・犬山市鳥獣害防止総合対策協議会負担金 895,000円
事業の成果・効果	<p>●農作物等被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有害鳥獣駆除事業委託 <ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害を低減するため、イノシシ等有害鳥獣の駆除を委託した。 R5実績：イノシシ287頭、アライグマ24頭、ヌートリア71頭、ハクビシ15頭、タヌキ54頭、カラス9羽、ヒヨドリ3羽 ○鳥獣害防止総合対策協議会負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市鳥獣害防止総合対策協議会による農作物被害への対策業務として、鳥獣害防止柵等設置補助（R5実績：30件）を実施した。

II : 個別事業内訳

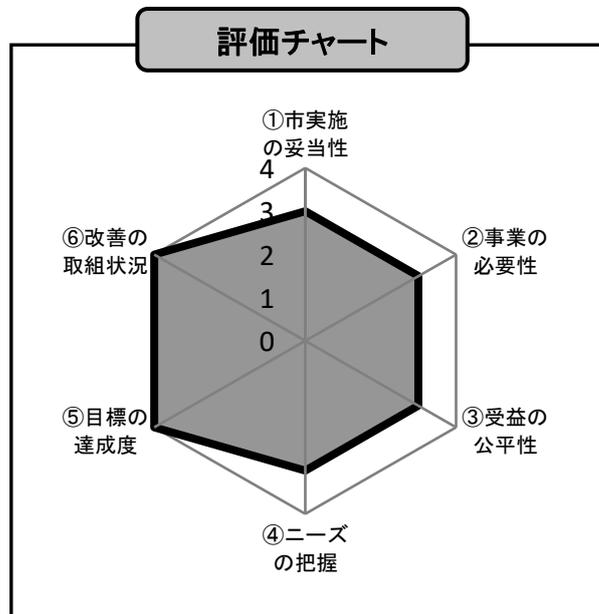
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		性確保適応性	報発信・共有	業務の効率化
農作物等被害対策	5,461	0	5,461	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,461	0	5,461	100%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		5,244	5,461	5,906
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,244	5,461	5,906
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	有害鳥獣による被害は広範囲で発生しており、市が主体となって被害防止を行っていく必要がある。
②事業の必要性	3	有害鳥獣による被害を防除し、農作物の安定供給や農業に従事しやすい環境を構築する事業である。
③受益の公平性	3	農業者への支援が主となる事業。農業が安定し継続されることで農作物供給という点では広く市民へ関係する。
④ニーズの把握	3	農作物被害状況を把握するためアンケート調査を行っている。
⑤目標の達成度	4	予想捕獲頭数より多く捕獲でき農作物被害の防止を図ることができた。
⑥改善の取組状況	4	駆除した有害鳥獣の処分について、焼却施設と協議し、搬入条件の明確化による業務改善を図った。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	駆除した有害鳥獣の処分について、焼却施設と協議し、搬入条件の明確化による業務改善を図った。
令和6年度に見直しを実施している事項	駆除した有害鳥獣の処分について、有害鳥獣個体の有効活用に向けた検討・調整を予定している。
今後見直しを検討する事項	有害鳥獣捕獲体制の維持・強化を図るため、わな免許の更新費用補助を検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
イノシシやタヌキ・アライグマなどの中型獣の農作物被害が増加しており、捕獲頭数も増加している。	わな免許取得費や更新費用を助成することにより、従事者の確保による捕獲体制の強化を目指す。また、「寄せない」「入れない」「捕まえる」の有害鳥獣対策の基本を周知・啓発することにより、地域住民による被害対策の強化を目指す。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	4	土地改良費	280

部局名	経済環境部
課名	産業課

I : 事業概要

施策事業名	土地改良
事業目的	農業生産性向上を図る土地改良事業を実施するため設置された団体である土地改良区に関する業務を適正に行う。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区関係協議会及び関連負担金に関する業務を実施した。 ・犬山用水揚水機場のポンプのメンテナンスを適切に実施し、必要な工事を施工した。 <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地改良（用水）事務 <ul style="list-style-type: none"> ・濃尾用水協議会負担金 150,000円 ○土地改良（用水）施設管理 <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務委託料 242,000円 ・土地改良施設維持工事請負費 299,200円 （用水路維持工事（浚渫工事）） ○土地改良（用水）施設改修 <ul style="list-style-type: none"> ・土地改良施設維持工事請負費 1,848,000円 （揚水ポンプ施設維持工事）
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良施設を適正管理することにより、かんがい用水の安定的な供給が図れるとともに、洪水抑制機能等の多面的効果が発揮され、市民の生活向上に寄与している。 ・用水ポンプ部品の老朽化や配管の吸込み機能を回復させるため、用水ポンプ施設維持工事を行った。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

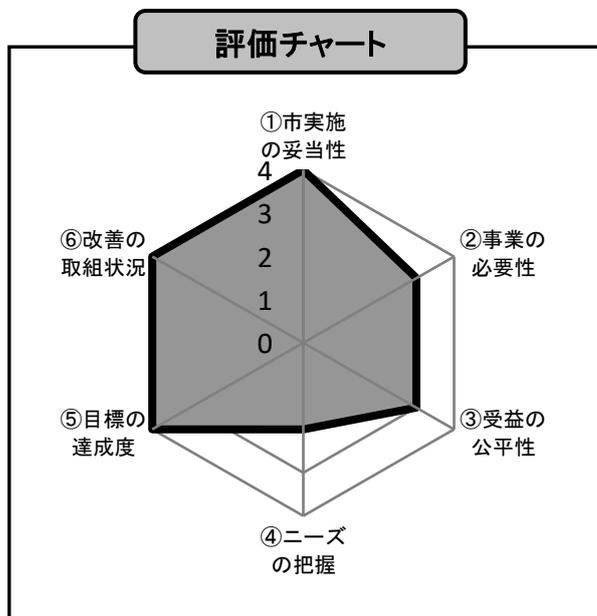
(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		性確保適応性	報発信・共有	業務の効率化
土地改良（用水）事務	187	0	187	100%	4	4	4
土地改良（用水）施設管理	1,028	95	933	91%	4	4	4
土地改良（用水）施設改修	1,848	1,570	278	15%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3,063	1,665	1,398	46%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		3,829	3,063	5,390
財源内訳	国県支出金	2,276	1,665	3,404
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,553	1,398	1,986
一般財源の割合		41%	46%	37%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	市が管理する法定外公共用物である。
②事業の必要性	3	土地改良施設を適正管理することにより、かんがい用水の安定的な供給が図れるとともに、洪水抑制機能等の多面的効果が発揮され、市民の生活向上に寄与しているため、事業実施の必要がある
③受益の公平性	3	直接の受益者は少数であるが、施設の維持管理に関する部分で、草刈り等の受益者の協力による作業が行われている。また、土地改良施設が適切に維持管理されることによる波及効果は、市全体に及ぶ事業である。
④ニーズの把握	2	令和3年6月に犬山用水土地改良区において、耕作放棄されている苗田のあり方を検討するため、苗田を所有する受益者に対し、アンケートを実施し、現状把握を行った。
⑤目標の達成度	4	実施計画に基づき予算計上した業務は、全て適正に実施することができた。
⑥改善の取組状況	4	用水ポンプの修繕工事について、県の補助金を活用し財源確保を図った。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	用水ポンプ部品の老朽化やポンプ自体の吸込み機能を回復させるよう用水ポンプ施設維持工事を行った。
令和6年度に見直しを実施している事項	用水ポンプの配管の老朽化により、安定配水に支障が生じているため、交換工事を実施する。
今後見直しを検討する事項	施設の状態や受益者の要望を把握し、必要な事業実施について常に見直しを図っていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
用水ポンプの老朽化、また木曾川内の取水口周辺に堆積した砂の影響による機能低下への対応など、適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。	用水ポンプ施設の老朽化に伴い、適切に維持工事を行う。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	2	1	林業振興費	282

部局名	経済環境部
課名	産業課

I : 事業概要

施策事業名	林業振興
事業目的	森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能等の多面的効果を発揮できるよう国・県等関係機関と連携し、適切な森林整備を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・林業振興・森林整備に係る業務を実施した。 ・産業振興祭において「木工教室」を開催した。 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・木工教室開催委託料 300,000円 ・愛知県森林協会負担金 192,000円
事業の成果・効果	・森林が整備、保全されることにより、森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能等の多面的効果を楽しんでいる。

II : 個別事業内訳

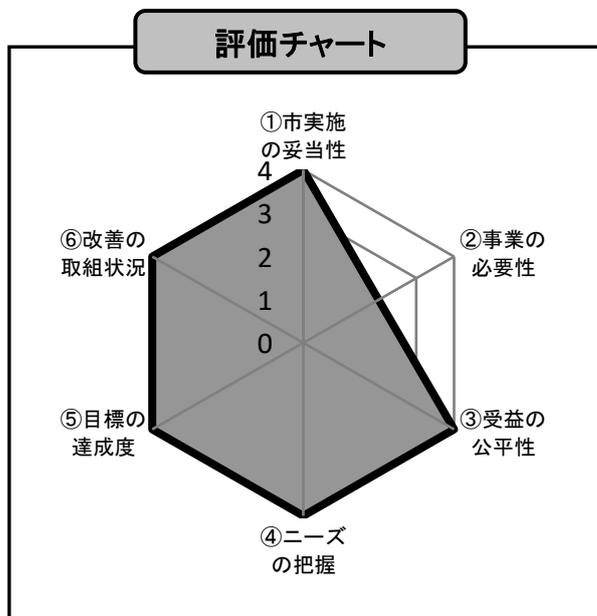
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		性確保適応性	報発信・共有	業務の効率化
林業振興	515	150	365	71%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	515	150	365	71%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		646	515	602
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	150	150	150
	一般財源	496	365	452
一般財源の割合		77%	71%	75%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	森林経営管理法により、市は区域内の森林の経営管理が円滑に行われるよう主導的な役割を果たす主体と位置付けられている。
②事業の必要性	2	本市における林業は衰退しているが、市域に占める森林割合は45%を超えており、引き続き森林の適切な維持管理に努めていく必要がある。
③受益の公平性	4	森林が有する多面的機能は、市民の生活環境向上に寄与している。
④ニーズの把握	4	森林・林業施策に関するニーズの把握については、県や森林協会において、犬山市を含む県内全体のニーズ把握がなされている。
⑤目標の達成度	4	実施計画に基づき予算計上した業務は、適正に実施することができた。
⑥改善の取組状況	4	経費については、現時点で最小限の事業となっている。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	森林法改正による伐採届事務の運用見直しに対応し、適切な窓口業務を実施した。
令和6年度に見直しを実施している事項	市内森林の状況把握に向けた準備を進める。
今後見直しを検討する事項	本市の林政業務を進めていく上で、新たな予算が必要となった場合は十分に精査した上で計上する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能等の多面的効果を最大限発揮できるよう国・県関係機関と連携し、適切な森林整備に努めていく必要がある。	総合的な森林整備が推進されるよう県等関連機関との連携を図っていく。 森林整備には適切な間伐が必要であり、間伐材の有効活用である木工教室を継続し、子ども達が木に親しむ機会を設ける。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
6	1	2	商工費	284

部局名	経済環境部
課名	産業課

I：事業概要

施策事業名	商工業振興
事業目的	市内商工業の活力や賑わい創出のため、市内中小企業者や商業団体等を支援・育成・PRし、商工業の振興を図る。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○商工業振興事務（市内事業者の事業拡大、事業継続を支援。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業の事業継続のため、専門家相談窓口を設置し、経営計画実現を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> 事業継続支援業務委託料 4,702,500円 事業継続支援補助金 12,475,000円 ・市内事業者の行う事業拡大のための再投資を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> 企業再投資促進補助金 23,627,000円 ・商工会議所の行う事業者支援に対する支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 小規模事業経営支援事業補助金 5,863,000円 産業振興事業補助金 2,922,000円 ・金融機関が円滑に融資するための支援と融資を受ける事業者の負担軽減を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> 小規模企業等振興資金貸付預託金 100,000,000円 商工組合中央金庫貸付預託金 6,000,000円 <p>○商業団体等補助（発展会等の活動を支援。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路灯の維持管理の負担を軽減するための支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 商業団体等街路灯等電灯料補助金 165,400円 <p>○特産品販売促進（特産品の事業継続、販路拡大を支援。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品協会の事業支援や特産品のPRを支援した。 <ul style="list-style-type: none"> 特別旅費 21,780円 <p>●主な財源</p> <ul style="list-style-type: none"> 新あいち創造産業立地県補助金（企業再投資） 11,813,000円 商工組合中央金庫貸付元金 6,000,000円 小規模企業等振興資金貸付元金 100,000,000円 信用保証料補助金返還金 393,600円 ふるさと犬山応援基金 43,973,000円
事業の成果・効果	継続して事業者に対する資金繰りの支援を行った。加えて産業の振興及び活性化や事業継続を図るための各種支援を行い、市内産業の活性化につながった。

II：個別事業内訳

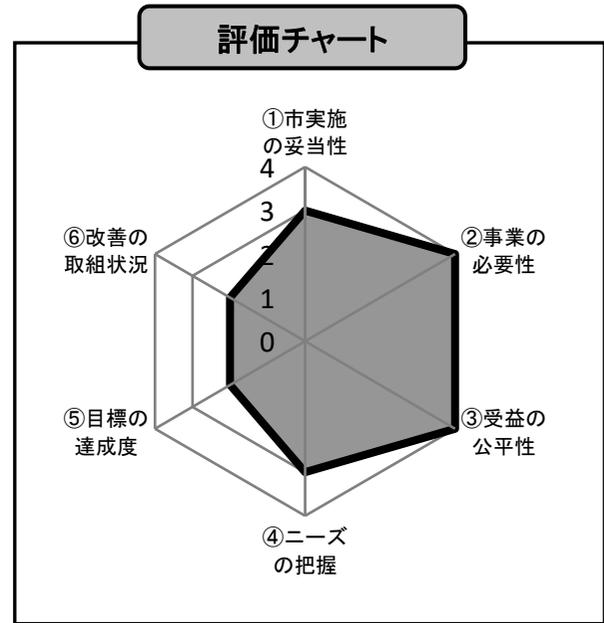
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
商工業振興事務	162,180	162,180	0	0%	3	3	2
商業団体等補助	166	0	166	100%	3	3	3
特産品販売促進	22	0	22	100%	2	2	2
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	162,368	162,180	188	0%	2	2	2

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		276,936	162,368	178,242
財源内訳	国県支出金	188,888	11,813	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	150,367	142,774
	一般財源	88,048	188	35,468
一般財源の割合		32%	0%	20%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	商工業振興のため民間事業者を支援することが主たる業務となるため、民間によるサービス提供は難しい。
②事業の必要性	4	新型コロナウイルス感染症の影響や、ウクライナ情勢、世界的な物価高の影響で経済状況が不安定となっているため、厳しい状況下にある事業者に対する積極的な支援が必要である。
③受益の公平性	4	多くの市民の勤務先は中小企業となっており、中小企業に対する支援は雇用の安定につながるため、結果として多くの市民が恩恵を受けることになる。
④ニーズの把握	3	随時、事業者や専門家、支援機関との情報交換や、産業振興会議においてニーズの把握に努めている。
⑤目標の達成度	2	地域経済の活性化を目標とした事業だが、新型コロナウイルス感染症の影響や、ウクライナ情勢、世界的な物価高の影響で目標には到達していない。
⑥改善の取組状況	2	地域性などにより、他市との比較の必要性が無い事業もあるため、評価としては低くなるが、事業者や専門家、支援機関と情報交換を行い、制度の改善に取り組んでいる。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援について、新規に支援制度を創設した。 ・産業振興補助金の雇用促進に関わるメニューについて、マッチングウェブサイトへの登録に対する補助メニューを創設し充実を図った。 ・効果的な支援となるように支援制度の充実、見直しを随時実施している。
令和6年度に見直しを実施している事項	事業継続支援事業や産業振興補助金の効果検証を行い、制度の評価や充実を図る。
今後見直しを検討する事項	ウクライナ情勢、世界的な物価高の影響を見ながら、また国、県の動向にも注意しながら支援制度の充実、見直しを実施する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
不安定な経済状況が、事業者の事業継続の妨げとなる可能性がある。	このような状況下においても積極的に事業の継続、発展に取り組む事業者に対し、多面的な支援ができる体制の構築が必要である。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
6	1	2	商工費	284

部局名	経済環境部
課名	産業課

I：事業概要

施策事業名	企業立地促進
事業目的	地域経済基盤の安定、雇用機会の創出、安定した市民サービスの提供に必要な自主財源の確保のため企業支援、誘致に取り組む。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○企業立地促進 <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県産業立地セミナーへの参加 首都圏、関西圏の企業向けに愛知県主催で開催される産業立地セミナーへ参加した。 特別旅費 84,300円 ・立地奨励金 犬山市企業立地支援条例に基づき、市内に立地した企業へ立地奨励金を交付した。 (株)フェイスワン 2,816,400円 令和3年度から令和5年度まで交付(3/3年目) (株)シマショウ 1,233,600円 令和5年度から令和7年度まで交付予定(1/3年目) ●主な財源 <ul style="list-style-type: none"> ふるさと犬山応援基金 4,143,000円
事業の成果・効果	地域経済基盤の安定、雇用機会の創出、市民サービスを安定的に提供するために必要な自主財源の確保のため企業支援、誘致に取り組んだ。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

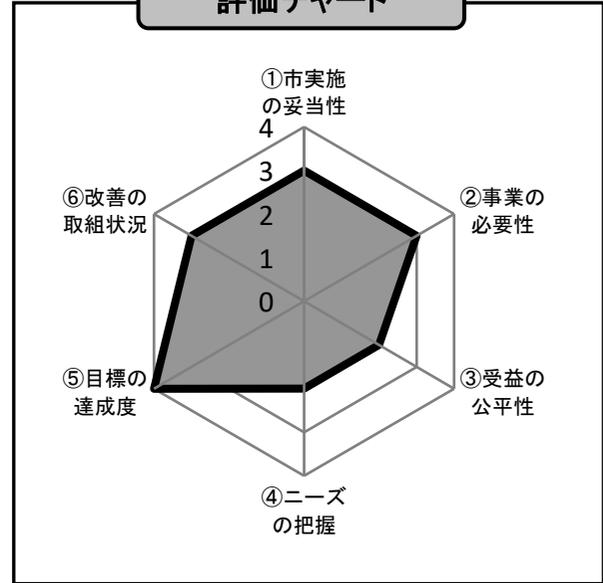
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
企業立地促進	4,143	4,143	0	0%	4	3	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	4,143	4,143	0	0%	4	3	4

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		13,178	4,143	7,471
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	13,178	4,143	7,059
	一般財源	0	0	412
一般財源の割合		0%	0%	6%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	民間開発による分譲から企業誘致の可能性はあるが、立地推進のための施策や、他市町との差別化を図る施策は、市以外が実施することはできない。
②事業の必要性	3	企業立地の推進施策そのものが市民の日常生活に与える影響はないが、長期的には市民の生活を支える財源確保のために継続的な企業立地の推進は必要である。
③受益の公平性	2	直接的な恩恵は、進出した企業とその関係者に限られる。
④ニーズの把握	2	不動産事業者や開発事業者との情報交換により、社会情勢、企業ニーズの把握に努めている。
⑤目標の達成度	4	市内で1社が操業開始し、2社が犬山市に立地することを決定した。
⑥改善の取組状況	3	支援対象となる事業者とは個別に連絡を取りながらワンストップで丁寧に対応しているため、現在の方法を継続する。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	愛知県の制度見直しに合わせ、都市計画課と連携し集積業種の拡大に取り組んだ。
令和6年度に見直しを実施している事項	ワンストップ窓口機能の充実を図るための図面を作成する。
今後見直しを検討する事項	現在の仕組みで概ね企業立地の機能を果たしているため、大きな見直しは行わない。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
産業集積誘導エリアが、農業振興地域内の農用地区域であるため、手続きに相当な時間を要するとともにインフラの整備が行き届いていない場所がある。	多くの許可を要する関係法令に関わるが、これを効果的に解決する方法は無いため、相当の時間を要することを前提に、調整を行う。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
6	1	3	労働諸費	286

部局名	経済環境部
課名	産業課

I：事業概要

施策事業名	労働者支援
事業目的	安定した雇用環境の形成及び労働者福祉向上のための労働環境の整備を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 ○労働者支援事務 <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業相談会 市内事業者の人材不足の解消と求職者の就職機会の拡大支援のため、犬山商工会議所、ハローワーク犬山との連携により合同企業相談会を開催した。 消耗品費、印刷製本費、会場借上料 387,089円 ・融資資金預託 勤労者が生活資金及び住宅資金の融資を円滑に受け取ることができるよう、東海労働金庫小牧支店に資金預託を行った。 勤労者生活資金・住宅資金貸付預託金 5,000,000円 ●主な財源 勤労者生活資金・住宅資金貸付元金 5,000,000円
事業の成果・効果	安定した雇用環境の形成及び労働者福祉向上のための環境整備を図った。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

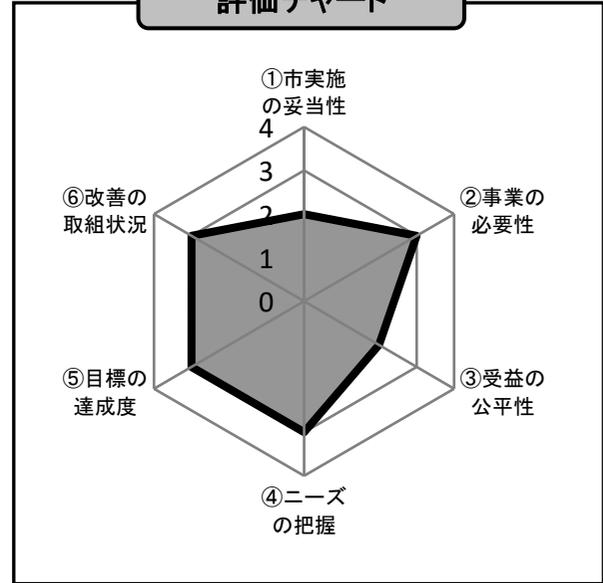
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
労働者支援事務	5,390	5,000	390	7%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,390	5,000	390	7%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		5,692	5,390	6,430
財源内訳	国県支出金	0	0	750
	地方債	0	0	0
	その他	5,000	5,000	5,000
	一般財源	692	390	680
一般財源の割合		12%	7%	11%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	2	民間が実施する事業では、うまくマッチングできない企業や求職者については、市が関係機関と連携し支援していく必要がある。
②事業の必要性	3	新型コロナウイルスの影響が残り、ウクライナ情勢や物価高の影響など先行きが見通せない不安定な状況において、民間が手を出さないような事業を市が実施する必要がある。
③受益の公平性	2	対象者が限られた事業であり、恩恵を受ける市民は限られる。
④ニーズの把握	3	就職フェア、合同企業相談会ともにアンケートを実施しており、その結果に基づき開催方法の見直しを行っている。
⑤目標の達成度	3	預託金に対する融資目標は達成できなかったが、市単独開催の合同企業相談会（マッチング事業）では、求職者の参加は減ったものの5名の採用につながった。
⑥改善の取組状況	3	マッチング事業については毎年開催方法の見直しをしながら実施している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	令和4年度にアンケートに基づき60歳以上の募集がある企業を集める仕組みに変更し成果が出ていたので、大きな見直しは行っていない。
令和6年度に見直しを実施している事項	3市2町の就職フェアについては、参加市町間で初期の目的とのずれが生じてきていることから犬山市は退会し、より成果が出ている市単独開催の合同企業相談会を推進していく。
今後見直しを検討する事項	労働問題は課題が多岐にわたるため、市としてどこにどれだけのように入力していくか見直ししていく必要がある。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
アフターコロナ、ウクライナ情勢、物価高といったことで先行きが不透明な中、ローカルで小規模な企業の人手不足は深刻化しているにもかかわらず、求職者からすると希望職種が無いなど、雇用のミスマッチが生じている。	実態をつかむことが難しい状況だが、社会情勢に合わせて、社会課題の解決のために必要な支援が、必要な時にできるように関係団体と連携し取り組むことが必要と考えている。